

新型コロナウイルス感染症に関するガイドライン

富山県ビーチボール協会

1 大会参加について

- 1) 大会当日、発熱（37.5℃以上の体温）、咳、咽頭痛、倦怠感などの症状がある場合は、自主的に参加を見合わせる。
- 2) 同居の家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加を見合わせる。
- 3) 過去14日以内に政府から、入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国・他地域への渡航や他地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は見合わせる。

2 体育館へ入館時

- 1) 受付にて非接触性体温計により体温の計測はします。37.5℃以上の場合は、別室にて正式に体温を測定。それでも37.5℃以上の場合は大会参加を自粛。
- 2) マスクを着用し、入館後はこまめに手洗い、アルコール等で消毒を行うこと。
アルコール等は各チームでの準備の事。
原則として、協会側にて、マスク・アルコール類の準備はいたしません。
- 3) 基本的には役員、選手以外は入館禁止とする。
但し、大会・体育館の規模にあわせて観客席の半分程の入場は主催協会の判断に委ねる。
この場合は、観客席と観客席との距離を十分に開ける対策を講じる事。選手・役員以外はアリーナ内には入らせない対策を講じる事。

3 開会式、閉会式

- 1) 選手・役員はマスクを着用し、間隔を取って整列すること。出来れば代表者等数名での整列が好ましい。

4 試合中について

- 1) 整列時、間隔をとって並び、握手は行わない。
- 2) プレー中は、熱中症の危険があるのでマスクの着用は義務付けない。
- 3) 定期的に体育館の入口を開け、外気を取り入れる等の換気を行うこと。
- 4) コート内で会話をする際は、距離をとり大声で話さないこと。
- 5) コミュニケーションはエアータッチ等とし、お互いの接触を避けること。
- 6) セット間毎に使用ボール及び選手の手指の消毒をすること。
- 7) 試合待機時は、マスクを着用し、間隔をとって待機すること。

5 審判について

- 1) ホイッスルを使用する場合は、飛沫感染防止対策を講じること。
- 2) 代替えとして、電子ホイッスルの使用も可としますが、その場合は主審・副審はマスク着用する。
- 3) 線審についても、マスクを着用すること。

6 その他

- 1) このガイドラインに加え、各試合会場のガイドライン等に準ずること。
- 2) 大会終了後2週間以内に、発熱等を発症された方が出た場合、所属協会・連盟へ連絡すること。なお、ガイドラインは現時点でのものであり、今後の状況により改正される場合があることを申し添えます。

※ 最後に、安全・安心してビーチボールが楽しめるよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。